

公衆衛生活動は医師会活動の原点！

平成25年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 平成26年1月16日（木） 午後4時～午後5時15分
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 18人
渡辺委員長
清水・岡田・瀬川・辻田・福永・森尾・松野・村上・
中安・吉田・長谷岡・丸瀬・能勢各委員
県健康政策課がん・生活習慣病対策室：下田副主幹
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

挨拶（要旨）

〈渡辺委員長〉

今年度より委員長に就任することとなりました。

公衆衛生活動は医師会活動の原点だと思えます。医師の日常診療を通して公衆衛生の向上に資すること、さらに、県民の健康推進に関わる様々な啓発や健康教育を県医師会、地区医師会、行政共に連携して取り組むことは重要であり、地域医療の基盤を強固にするものと思います。幅広い公衆衛生活動を通して、地域全体の健康増進に寄与できるような委員会運営が出来れば幸いです。

報 告

1. 平成24年度事業報告及び平成25年度事業中間報告

（1）健康教育事业：渡辺委員長より報告

①健康フォーラム

○平成24年9月8日（土）「ハワイアロハホール」開催。聴講者137名

「鳥取発、最先端の肺がん外科治療 ～ロボット手術が切り開く外科の新時代～」

講師：鳥取大学医学部附属病院 胸部外科
科長・准教授（診療教授）

中村廣繁先生

「肺癌の自覚症状と薬物治療の個別化」

講師：鳥取大学医学部統合内科医学講座分子
制御内科学分野 教授 清水英治先生
共催：鳥取県医師会・鳥取県健康対策協議
会・新日本海新聞社

○平成25年11月16日（土）「鳥取大学医学部記念講堂」開催。聴講者85名

テーマ『肝臓で命を落とさないために』

「B型・C型肝炎と脂肪肝炎」

講師：鳥取大学医学部機能病態内科学（消化
器内科）教授 村脇義和先生

「肝臓のやさしいお話」

講師：鳥根大学医学部附属病院 肝臓内科診
療科長 佐藤秀一先生

共催：鳥取県医師会・鳥取県健康対策協議会
特別後援：新日本海新聞社

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成24年度は25回、平成25年度は1月現在で20回掲載した。

公開健康講座の講演内容について掲載している。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を平成24年度は26回、平成

25年度は1月現在で20回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それに対する回答を掲載している。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座実施。会場は鳥取県健康会館のほか、倉吉市市内で1回開催。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年12回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施。

渡辺委員長より、鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナーは、平成23年度までは倉吉市、米子市内で1回ずつ開催してきたが、西部医師会主催の一般公開健康講座が毎月開催され、生活習慣病対策を中心としたテーマで行われているので、野坂西部医師会長と相談の結果、平成24年度より米子市での開催をしないこととしたと報告があった。

(2) 地域保健対策：岩垣鳥取県健康対策協議会事務局係長

平成24年度から新規事業として『各種がん検診確定がん予後調査から検診の精度評価を考える』を行うこととなり、十年前に比べて発見がんが倍増している乳がんについて調査を行うこととなった。

市町村が実施する乳がん検診は、平成17年度より隔年検診となり、検診方式も視触診とマンモグラフィ併用検診となった。また、ここ10年間で手術方法も進歩してきている。

(方法)

「平成11年度～平成20年度検診確定がんリスト」とがん登録データ（登録開始年～平成25年9月30日現在）及び死亡小票データ（平成元年1月1日～平成23年12月31日）の死亡情報（死亡年月日、死因）と突合作業を行う。

(結果)

確定癌数470件のうち、死亡者は49件であった。

- (1) 死因は癌死35件、その他疾病は13件、不明1件
- (2) 生存期間は1年未満2件、1年以上5年未満26件、5年以上10年未満16件、10年以上5件
- (3) 死亡者49件の臨床病期別ではⅠ期14件、Ⅱ期27件、Ⅲ期3件、Ⅳ期3件、不明2件

詳細な解析については、『乳がん対策専門委員会』の石黒委員と相談しながら行うこととしている。

(3) 生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（福永委員）〉

- 1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を平成24年9月8日と平成25年9月7日に開催した。
- 2. 平成24年11月17日と平成25年11月23日に行われた鳥取市市民健康ひろばにて、健康相談を行った。
- 3. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成25年3月1日に開催し、参加者は47名であった。平成25年度は2回開催する。平成25年7月8日と平成26年2月7日に開催予定である。
- 4. 各会員による健康教育講演は、平成24年度は85回、平成25年度は12月末で57回行った。

〈中部医師会（森尾委員）〉

- 1. 「住民健康フォーラム」を平成24年度は9月30日に『「目がまわる」、「ふらふらする」あなたのお悩みに答えます』をテーマに開催し、参加者は48名であった。また、平成25年度は11月17日に『温泉につかって健康』をテーマに開催し、参加者は65名であった。
- 2. 各会員による健康教育講演は、平成24年度は35回、平成25年度は16回行った。

〈西部医師会（松野委員）〉

1. 健康教育講座を平成24年度は米子市内の公民館で26回、境港市で17回行った。平成25年度は12月現在で米子市内の公民館で26回、境港市で5回行った。
2. 地区の公民館を会場にして、『『出前講座』上手に医師にかかるには』と題した講演を1回開催した。
3. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を行っており、平成24年度は12回、平成25年度は12月現在で9回開催されている。
4. 各会員による健康教育講演は、平成24年度は93回、平成25年度は集計中である。
5. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ（5分番組）」が放送されている。

各地区の医師会員が地域、学校において住民のために、それぞれの希望に沿ったテーマで健康教育活動を献身的に多く行われている。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

平成24年度は54件、平成25年度は1月現在で45件の相談があった。

協 議

1. 平成26年度事業計画（案）：

渡辺委員長より説明

（1）健康教育事业

- ①健康フォーラムは平成25年度より新日本新聞社の特別後援で行ったが、費用負担が大きいことや、受講者が年々減少していること等があり、広報の仕方も含めて、継続していくかどうか、今後、鳥取県医師会で検討を行う。
- ②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回

掲載続行予定。

- ③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。

- ④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

県健康政策課より平成26年度に行われる①健康フォーラム、②生活習慣病対策セミナー、③日本海新聞健康コラムにおいて、次のテーマが希望されており、平成26年度立案の際には検討することとなった。各種がん、肝臓病、糖尿病予防対策、脳血管疾患、高血圧に関連する疾病予防、CKD対策、鳥取県禁煙治療費助成事業、感染症対策。

鳥取県医師会公開健康講座は、平成26年度も米子市での開催はしないことは、野坂会長に了承は頂いている。野坂会長より、テレビ会議システムを活用して鳥取県医師会公開健康講座を西部医師会館で中継して頂きたいという要望を伺っているが、西部医師会館の使用出来る時間に制限があることや、駐車場の確保等の問題から、現在は見合わせているところである。

（2）地域保健対策

『各種がん検診確定がん予後調査から検診の精度評価を考える』を行う。

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。

2. その他

西部医師会主催で開催されている「一般公開健康講座」は、受講者80～110名と多く参加されているが、どのような広報をされているのかという質問があった。

米子市文化ホールの広報誌、米子市の市報に掲載してもらっている他、県民カレッジの連携講座にもなっている。参加者はリピーターが多い。